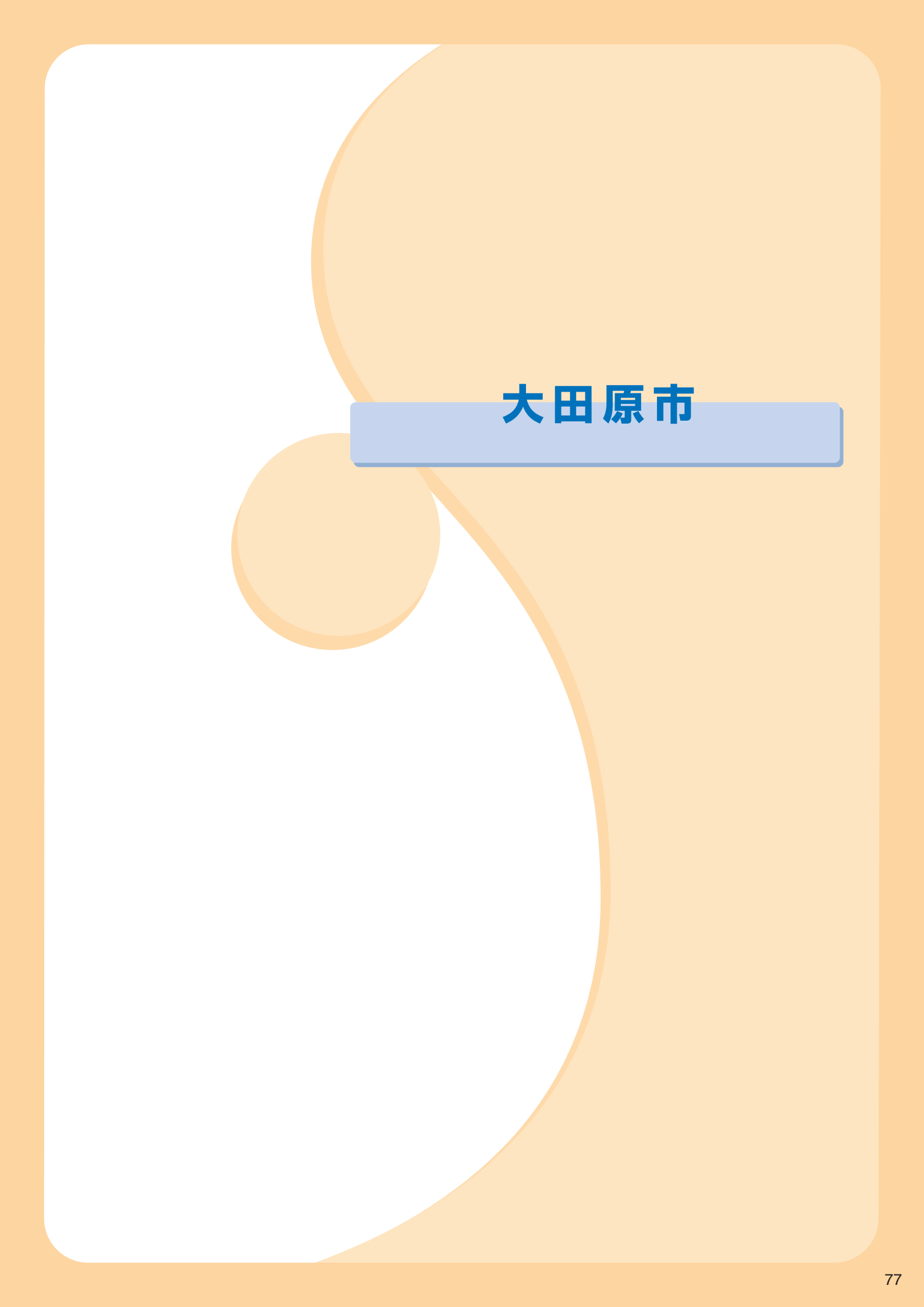
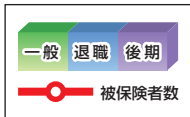


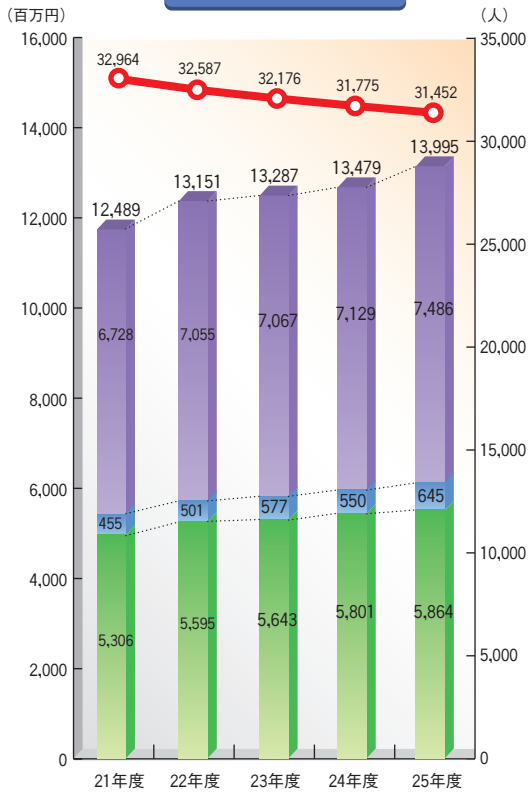


大田原市

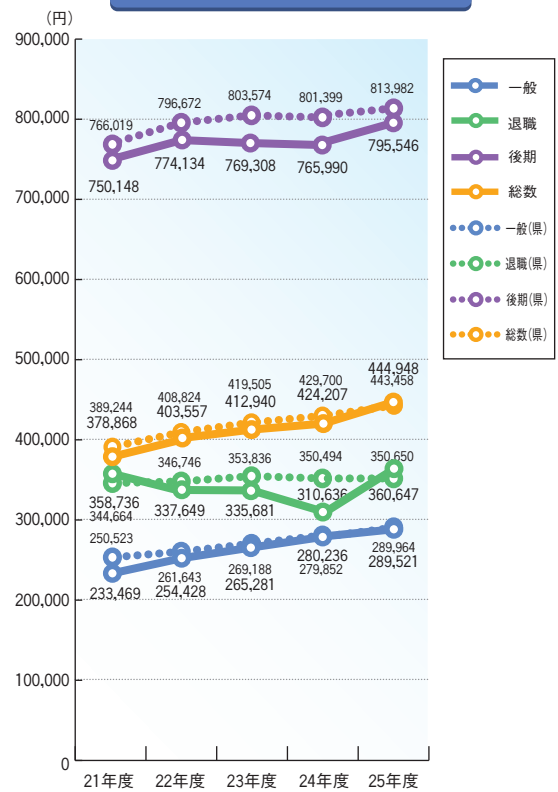
大田原市



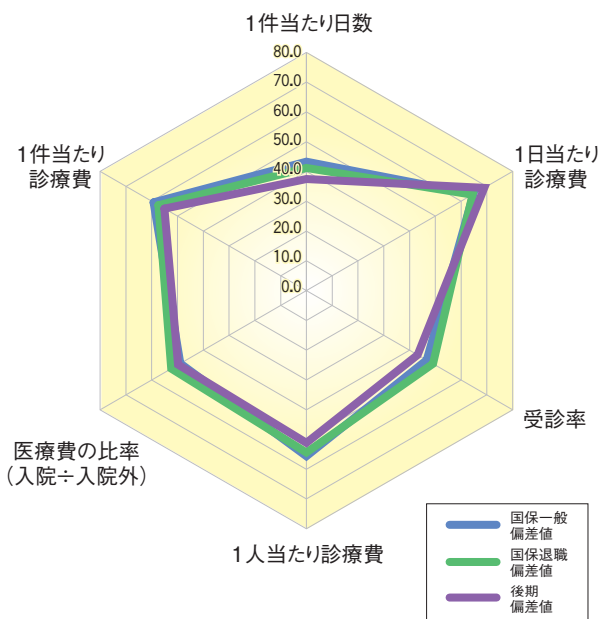
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

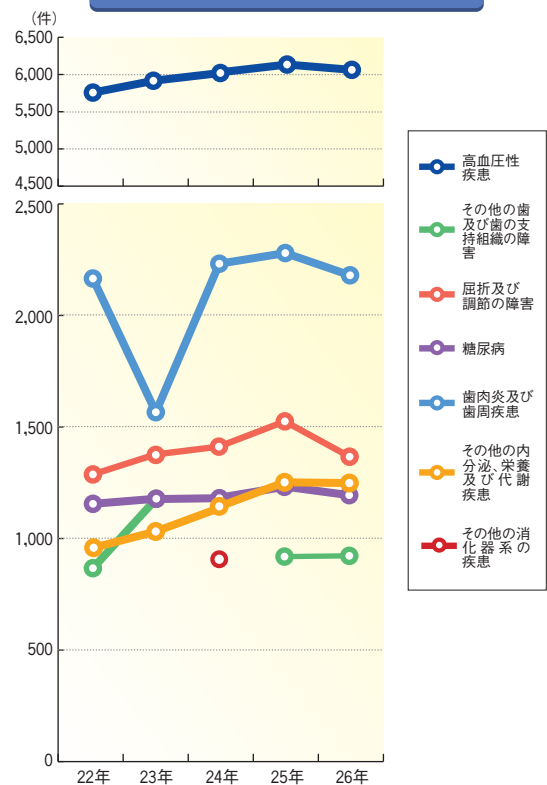


平成25年度
3要素と医療費諸費(県平均との比較)

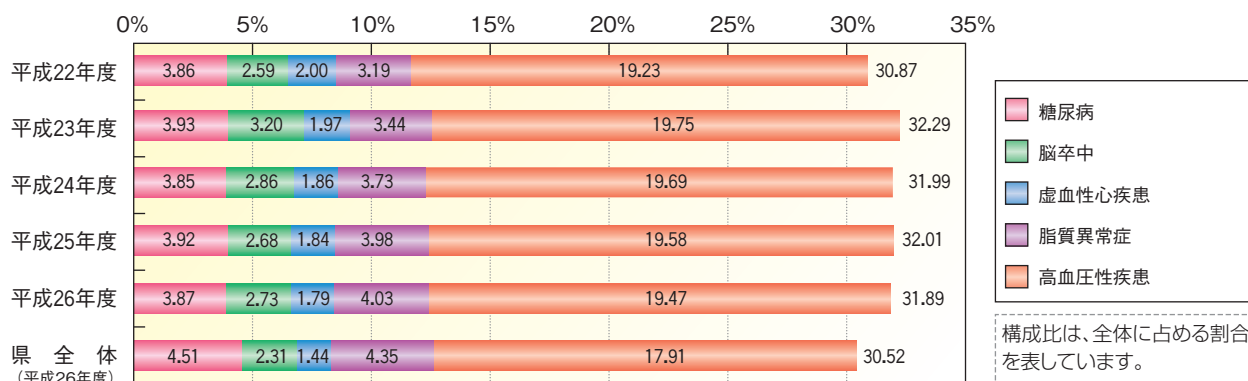


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

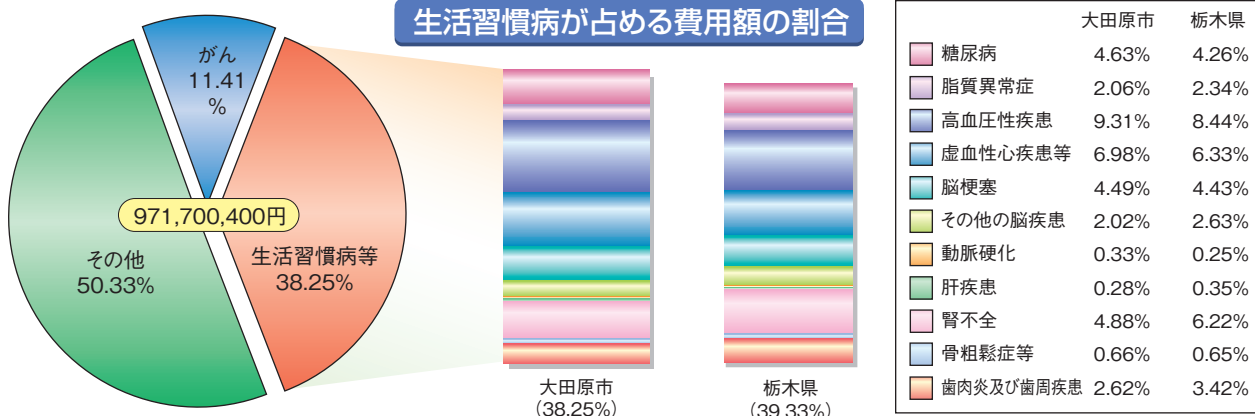
多受診疾病上位6位の推移



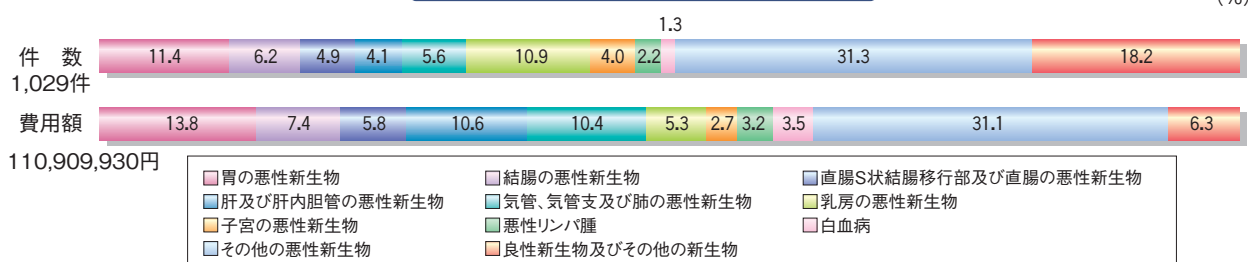
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



大田原市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成25年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般5,864,243千円(101.1%)、退職644,837千円(117.3%)、後期7,485,624千円(105.0%)で、全体では13,994,704千円(103.8%)と増加している。()は前年度との比較。

平成25年度平均被保険者数は31,452人で、内訳は一般20,255人、退職1,788人、後期9,409人である。1前年度比較すると全体で99.0%と減少している。

また、平成25年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は444,948円(20,741円増)、一般は289,521円(9,285円増)、退職は360,647円(50,011円増)、後期は795,546円(29,556円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、1日当たり診療費、1人当たり診療費、1件当たり診療費においては、いずれの法別も県の値を上回る高い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成26年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位糖尿病、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、その中でも4位のその他の内分泌、栄養及び代謝疾患が増加傾向にあり、平成22年と比べ件数が1.31倍となっている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、前年度と比較して、脳卒中・脂質異常症の構成比は増加したが、5大生活習慣病全体の構成比は減少した。

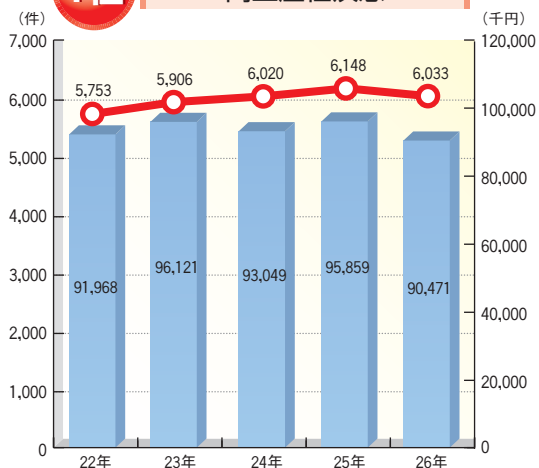
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成26年5月診療分の総費用額が971,700,400円で、がんが11.41%、生活習慣病関連が38.25%を占めている(県全体 がん11.61%、生活習慣病関連39.33%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.31%、虚血性心疾患等6.98%、となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、乳房の悪性新生物、費用額では、胃の悪性新生物、肝及び肝内胆管の悪性新生物、気管、気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

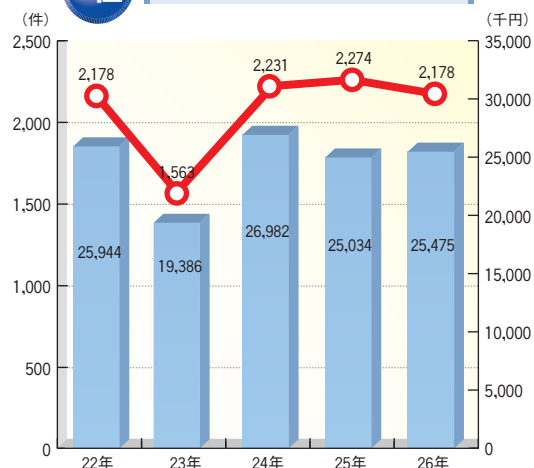
1位

高血圧性疾患



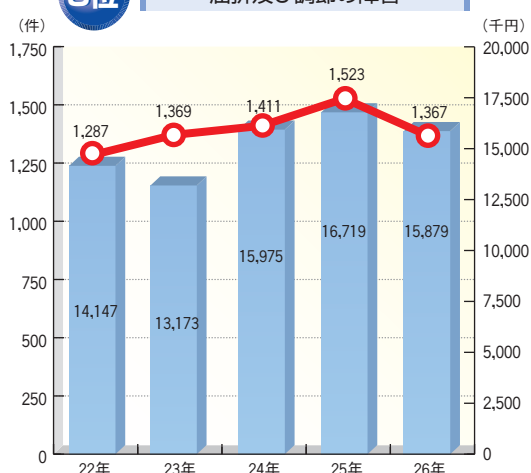
2位

歯肉炎及び歯周疾患



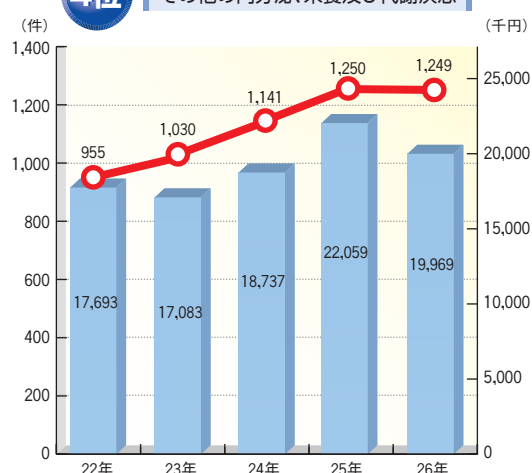
3位

屈折及び調節の障害



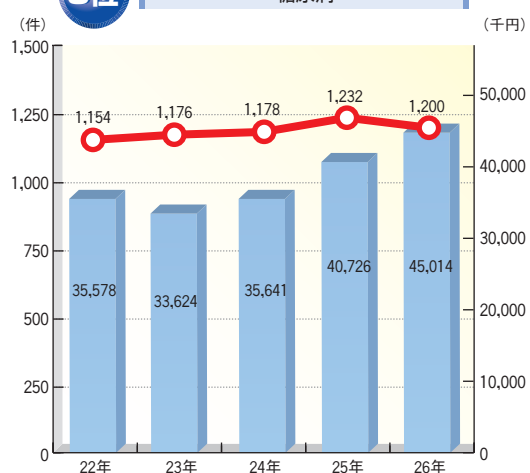
4位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位

糖尿病



6位

その他の歯及び歯の支持組織の障害

